

狭いところを通るときはいつもヒヤヒヤ



水上パレードで船頭に練習の成果を発揮

11月の白秋祭水上パレードで舟をこぎました。4月から約半年間練習しての船頭デビュー。練習を始めたころはなかなか真っすぐ進めず、木にぶつかったり竿を折ったりしました。歌ったり話したりはできませんが、なんとか舟をぶつけずに進めるように成長。プロの船頭さんは真っすぐ進むのは当たり前で、お客さんへの案内や歌もこなします。技術の高さやおもてなしの心を改めて感じました。水上パレードでは、掘割沿いで演奏する人や手を振る人を舟の上から見れたので、特別感を感じました。今回私がこいだ舟はお客さんに乗せない連絡舟でしたが、次回はお客さんに乗せられるよう、練習を続けていきたいと思います。



横山 真平 (36歳)

【プロフィール】市観光課に所属。観光DMO構築を担当